

『平成』最後の新年を迎えて

広報誌で振り返る”平成“の『積丹』

「平成」最後の新年を迎え、5月から新たな元号となりま
す。
私たちの郷土・積丹町の平
成の主な出来事を、広報誌
の紙面で振り返ってみましょ
う。

◀平成元年2月号(第326号)

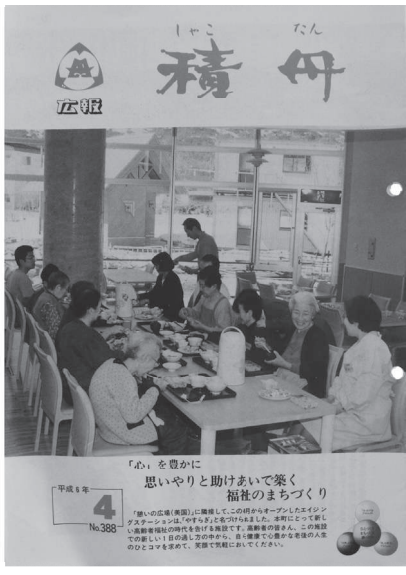
元号が「平成」となり、最初
に発行された広報です。

ここでは、コミュニティセン
ター（現在の役場庁舎）で行わ
れた、平成最初の成人式の様子
を掲載しており、この年は、41
名の方々が大人の仲間入りとな

りました。

また、同号では、B&G海洋
センターの誘致運動が始まり、
体育館やプールの広さ、建設費

建設場所として、美国町総合グ
ラウンド（現在の海洋センター）
が予定されていることが掲載さ
れています。



▶平成6年4月号(第388号)

平成6年4月、町に新しい高齢者福祉施
設「エイジングステーション やすらぎ」
が誕生しました。
施設入居者やデイサービス利用者にとっ
て、笑顔で楽しく過ごせる場所として、今
もたくさんの方が利用されています。



◀平成8年11月号(第419号)

積丹半島の海岸を走る国道229号が
開通し、北海道の海岸線がひとつに結ば
れました。

昭和45年の工事着工以来、26年の歳月
を要しました。この開通により、新たな
広域観光ルートが確立され、積丹の観光
振興の新たな幕明けを迎えました。

◀平成18年10月号(第514号)

平成18年9月、台風18号が町を襲い、住家被害、農林業被害など、被害総額約2億8千万円の大きな被害を受けました。

この台風の影響で、電柱が数多く倒れ、町内全域で停電や電

話の不通が発生。電気や水道が

使えず、正確な情報を得られな
いまま町民は不安な時間を過
しました。

また、台風が通過した後の町
内各地区では、倒木や屋根のト
タンなどが散乱し、撤去作業に
追われました。

台風18号



倒れた電柱 (橋本町)



倒れた家屋 (橋本町)

被害状況
今回の台風による被害では、死者8人、負傷者41人、住家被害9310件(9月15日現在)、家畜被害138頭、農林業被害166件など、被害総額にして2億7750万円に上り、大きな被害を生じた。被害の状況は、以下に示す。

自然の脅威
猛烈に吹き寄せられた今回の風の被害は、町民の生命・財産に大きな被害をもたらした。被害の状況は、以下に示す。

無残な光景
台風18号が通過した後の町内各地には、倒木や飛散した屋根のトタンなどが散乱し、住



破壊したビニールハウス (橋本町)



全壊した倉庫 (美園町)

生活の場 吹き飛ばす



電線の復旧作業 (橋本町)



トタンが飛んだ屋根の修復作業 (橋本町)



集積された廃棄物 (入野町)



高壊した倉庫 (美園町)



転倒したトラック (入野町)

災害の教訓
今回の台風による被害は、町民の生命・財産に大きな被害をもたらした。被害の状況は、以下に示す。

生活の場でも電気が
生活の場でも電気が使えず、正確な情報を得られな
いまま町民は不安な時間を過
しました。



屋根の飛散した家屋 (入野町)

広報

しゃとたん

1月号
No.589

「笑顔と安心」運ぶ「光の道」が春を呼ぶ！
～今年も「光」元年～

- 年頭おあいさつ
- ITの春(橋本)誕生
- 昨年生まれの小学生に聞きました
- 平成22年度 橋本町功労者表彰式

Shakotan Town Information 2011 January

「国道美国新橋」が完成!

「国道美国新橋」が完成し、交通の便が大幅に向上しました。この橋は、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。

この橋は、地域の発展に大きく貢献するものと期待されています。

▲平成29年12月号(第672号)
平成26年度に「国道美国橋架替工事」に着手。平成29年10月に、国道美国新橋が開通しました。

昭和37年に発生した台風9号、10号の影響により、堤防が決壊、濁流が美国市街に押し寄せ、383戸が浸水する被害から55年。長い年月を経て、美国川改修の最大の難関「美国橋架替工事」が完成しました。

▲平成23年1月号(第589号)
平成23年7月で、アナログテレビ放送の視聴が終了することに伴い、町では、光ファイバ工事を行い、地上デジタル放送の視聴、IP電話通信、J・A・L・E・R・T(全国瞬時警報システム)とも連動させ、同年4月1日から運用を開始しました。

町広報では、平成22年11月号から全10回にわたり、新しい情報化時代をお知らせしています。